



初冬を迎える穏やかな日差しとお寺のイチョウともみじの色づきの中、すてきな光の子の七・五・三のお祝いができてとてもうれしく思います。花まつり以来の本堂への集まりでの姿に、どの子ども澄んだ瞳で育っている姿にとてもうれしく思います。



すてきな光の子に育ったあなたへ 心をこめて！

『あなたが生まれた時、お父さんやお母さんはとても喜びました。

おじいちゃん、おばあちゃん、親戚の人たち、近所のおばさんやおじさんたちもみんなにここに来て



お迎えしてくれました。「いい子で育つように」「病気やケガをしないように」と神社やお寺に行って「これからよろしく、お守りください」とお願いをしたので、今日まで本当にしっかりと育つことができました。

「あなたが今、大きくなって七・五・三を祝ってもらえるのは、まわりのみんながあなたのことが大好きで、いつも良い子に育てほしいと願って育てくれたからです。だから、これから大きくなって、たくさんのことを勉強して、みんなに好かれ、みんなの役に立つ人になってもらえたら、どんなにうれしいことかと楽しみにしています。」

お父さんやお母さんそしてたくさんの人たちに守られていることを忘れないで、いつも感謝の気持ちを持ち続けてほしいと願います。

本日本堂にて「七・五・三のお祝い」をしました。

「お父さん、お母さんそしてお釈迦様に守られて大きくなりました。

これからお守りください。」「良い子になりますように！」と、小さい手を合わせて「お礼」と「お誓い」と「お願い」をしました。

これから良い子で育っていかれる為の「千歳あめ」は一人ずつに園



長と副園長より「良い子になってください！」と言って手渡しをした後、記念の写真をとりました。また、持ち帰った袋と絵のデザインは何日もかけて自分で色やバランスを考えてスタンプングして仕上げた作品ですので、ぜひ褒めてあげていただければと思います。

持ち帰りました「千歳あめ」はお世話になった方々に小さく切って『育ててくれてありがとう。』とお礼をいってさしあげ、最後に残った小さいのを自分が食べましょう！』とお話しましたので、温かく見てあげていただければと思います。

お互いの幸せに感謝しながら美味しくお召し上がりいただけましたらたいへんうれしいです。すてきな「こどものもり」の子どもたちの為に、これからもどのご家族もお互いに感謝し合い、ほめ合いながら、温かな心持ちを伝えていただければと願っています。

※絵本袋に入れて持ち帰ります。

本日年長児さんは卒園アルバム用の個人写真を撮りました。

一人ひとりちょっと緊張していましたが、毎年個人写真を撮る季節になると卒園まであと数カ月と感慨深くなりますね。

11月27日（日）の「未来を奏でるコンサート」に向けて、年長児だけの集まりを持ち、手話の歌などの意味を教してもらいながら、心を込めたていねいな歌の練習に励んでいます。



一人ひとりの個性をより伸ばし、一日一日を大切に過ごしていきたいです。